

令和6年度 山王保育所事業計画

1. 概要

①運営方針

- 保育所入所申込数は昨年に比べ特に0歳児で増えています。特に御兄弟の入所が多く4月の時点で0歳児が7名、1歳児3名、2歳児1名、3歳児2名が入園予定です。昨年度利用定員より10名増の90名でスタートします。また、ベトナム籍等の外国籍の入園は口コミ等で増えており、年度途中入所は特にベトナム籍の増加を見込んでいます。次年度もベトナム籍、中国籍のスタッフを雇用し、言葉の支援に努めます。また、地域との繋がりに加え国際的でバリアフリーな環境を整え、選んでいただける保育所を目指します。
- 自主事業として外国籍親子支援事業を立上げ中国籍・ベトナム籍の職員を雇用し地域の親子支援に繋がります。
- 園長が中心となり、中間層の育成を行い、自立した層の厚い組織づくりを行います。
- 地域に積極的に出向き、当園ならではの保育を創造します。商店街や山王地域とも連携を深めます。
- 職員の働き方改革として、年間休日日数を増やし働きやすい環境を構築します。
- 保育の見える化を積極的に進め、保護者に分かりやすく保育内容等を伝えます。また、保育の質の向上などに役立てます。さんのうだよりについても作成の仕方を工夫し業務の短縮に繋がります。
- 不適切保育に対する研修会を実施し、チェックリスト等で虐待防止に努めます。
- 療育を必要とする園児の増加に伴い、ヒューマンインクルーシブルセンタークリエバ（民間）と協力し合い、月に1回子どもたちの様子の情報交換を行い発達支援、また気になる子の支援に努めます。

②定 員 90名

③事業日数 293日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

（保育標準時間）	平日・土曜日	7：30～18：30	
（保育短時間）	平日・土曜日	早朝保育	7：30～ 8：00
		通常保育	8：00～16：00
		延長保育	16：00～18：30

⑥職員数

園長1名 園長代理1名 主任1名 正職12名（パート職員7名 パート看護師2名 派遣保育士4名） 環境整備 1名 計29名

嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

●子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。

●私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

●社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の流れを中心に、子どもたちが自主的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を充分発揮し人として「生きる力」を育む。

●在園児及び地域の子育て支援を行う。

●愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

③保育目標

●乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置

利用定員（4月予定）

0歳児 さくらんぼ組	7名	保育士3名
1歳児 いちご組	18名	保育士3名
2歳児 もも組	17名	保育士3名
3歳児 くり組	16名	保育士1名（3歳児対応加配保育士1名） （特別支援加配保育士1名）
4歳児 みかん組	18名	保育士1名（特別支援加配保育士1名）
5歳児 かき組	14名	保育士1名（特別支援加配保育士1名）
合計園児数	90名	保育士計16名

⑤保育内容

- 0歳児から5歳児までの発達過程と子ども一人ひとりの育ちの背景を理解したうえで、指導計画を立て、導入を大切に、子どもが「気づく、試す、面白い、もう一回」を繰り返す保育を行い、意欲と主体性を育みます。
- リトミックでは、ピアノの音を集中して聴き即時反応や、身体の使い方を丁寧に伝えます。また、「朝の意味ある運動」では保育者や子ども同士共感し合い、子ども自らが楽しんで参加できるような展開の仕方を考え取り組みます。
- 乳児期は保育士との愛着関係のもと安心して過ごせるよう「じゃれつき・運動遊び」を毎日取り入れます。また、普段の保育の中で視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感と固有感覚・前庭感覚の発達を促す保育を行い、感覚統合に繋がるよう保育環境を整えます。
- 保育士の指示や声掛けが多くなっていることを保育士同士で注意しあえる関係を作り、子ども達に必要以上の声掛けはせず、その分、その子の思いや発達を読み取るべく、子どもの姿を観察します。子ども自身で興味を持ち考え行動しようとする保育を行います。
- 年齢により出来るだけ少人数で、緩やかな育児担当制にて保育をおこないます。特に低年齢では、グループ保育の子ども的人数等配慮し、保育に時間差をつける等、見直しを行います。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行います。リーフレットの話と共に普段の生活の中に散りばめられている場面を子ども達と一緒に考え、思いやりや善悪の区別等を示していきます。また、保育者も一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育を行います。虐待への早期発見に努めます。
- 栄養士、調理師も給食時間に各クラスを巡回し、子どもの発達や嗜好を理解した上での献立、食育活動を計画します。給食室、職員との連携のもと菜園活動、クッキングを行い、その活動が子どもたちの何に繋がり成長を促すのかの目標を共通理解して取り組んでいきます。
- 今年度も外部講師による、体育指導、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導、絵画指導を行います。（絵画指導講師変更有）
- 子供の成長や繋がりを保護者の方々に喜んで頂けるよう、行事内容を見直し計画を立て進めます。
※特に生活発表会の進め方（言葉の理解度に配慮する）

⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・個人懇談会・家庭訪問（各年1回）を通して保育理念、方針、クラスの取り組みを丁寧に伝え理解を求めるとともに、保護者の思いを聞き取りながら、子どもの育ちを双方で確認し合い、家庭と連携を図ります。
- 引続きドキュメンテーションとYouTube（山王ちゃんねる）でその日の子どもの姿や保育のねらいが見える化し分かりやすく保護者に伝えます。また「さんのうだより」の内容について精査し、より有意義な情報発信に努めます。
- 外国籍の子どもが全体の35パーセント以上在籍しています。互いの文化を認め合いながら、外国籍親子支援事業や写真・動画などを用いコミュニケーションを図り、戸惑いなく保育所生活が送れるように支援します。
- 配慮の必要な家庭については、各区の子育て支援室と連携し情報を共有し、必要に応じ子ども相談センターや、ケースワーカーと共に支援を行います。

- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者と一緒に個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と連携を図り、情報の共有を行います。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行い、子どもたちを見守り、主任が相談窓口として受け付けます。

⑦人材育成

- 園長や主任だけが行う仕事を極力減らし、中間層の育成を行うことで、トップダウンではなくボトムアップで自ら仕事に取り組める人材の育成を行います。
- 一日の流れの再度見直しを行います。日々の保育の中で確認し合い周知徹底を図ります。
- 雇用では新卒1名 移動職員1名 派遣職員1名 育児休暇復帰職員1名計4名が入職します。リーダーを中心に指導に当たり、「一日の保育の流れ」「入園のしおり」「入職時に伝えるべき事項」を抜けのない様にチェック項目にして伝えます。また質の向上につながるよう積極的に研修会を実施します。入職時に伝えるべき事項は令和6年度より更新しています。
- 毎週水・木曜日にクラス・乳児・幼児・リーダー会議を行い、職員同士の思いを伝える機会を設けます。互いの意見を受け止め認め合い関係をつくり、一人一人が組織の原動力となる一員であることを自覚し向上心をもって課題に取り組む力をつけたいと考えています。
- 園内の情報や困りごとは速やかに園長、主任保育士に報告・連絡・相談を徹底し、全職員が共有できる組織体制づくりに努めます。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を理解できる職員育成に努めます。また、キャリアパス研修参加の機会を図ります。
- 定期的に大学教授等講師を招き研修を行い、保育の質の向上に繋げ、目標意識を持つ事で離職の少ない職場づくりに努めます。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)
第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。
第1.3.4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。
また、言葉の壁のある外国籍親子についても地域で孤立しないように支援を考えます。
- プール開放や運動会、ハロウィン、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

地域活動

- 地域清掃で子どもたちと職員で近隣の清掃を行う。
- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、わかくさ保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑で和太鼓演奏を披露し、交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。

- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。
- ボランティア学生の受け入れをします。

⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を主任保育士とします。苦情解決システムについては入園のしおりやポスターを張り出し、入園説明会で保護者に周知します。
- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。
寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を掲示し、協議中の事案については経過の報告をします。

⑩リスクマネジメント

- 環境整備の人材を中心に日々、消毒場所や時間を決め記録をとりながら漏れないように衛生管理を行います。また、保護者、園児、職員とも毎日欠かさず健康観察表に体温等記入し体調チェックを行います。
- 職員は子どもと一緒に昼食をとらず、別時間に順に昼食をとります。(ノンコンタクトタイム)
- 「よい子ネット」を利用し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行っていきます。また非常災害対応については、3月の個人懇談会で一人一人に伝え、緊急連絡先の確認を行い次年度に備えます。
- 危機管理委員会を中心に危機管理マニュアルの見直しを園内研修計画に位置付け、新人職員に分かりやすく、また、パート職員を含め全職員に行き渡るように周知していきます。
- 保健年間計画に基づき、感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・誤飲誤嚥・アレルギー誤食・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。
- ヒヤリハットを気付く毎に記入し職員会議で話し合うことで怪我や事故を未然に防ぎ子どもが安全に過ごせるように努めます。また、早急に対処が必要な場合は園長、主任保育士に直に相談し速やかに対処します。
- 災害に備え備蓄品等防災グッズの確保と点検を行います。(3月)
- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)
- 防犯訓練を行います(西成警察と連携)

⑪その他

- 今井光郎助成金が通れば椅子 20 脚机 10 台 420,700 円
- 今井光郎助成金が通ればベンティエール 1 F 1,379,620 円
- ビジネスフォン入替え（リース）1,000,000 円見込み
- 日よけシェード工事・砂場ネット 1,000,000 見込み
- 防犯・事故防止カメラ増設 500,000 見込み
- エアコン入替え（引続き大阪市と協議）法人の場合 10,000,000 円
- 建物及び門等塗装の塗替え（大阪市が 6 年度内実施）
- 北側壁設置について設計（大阪市が 6 年度設計、7 年度実施の見込み）
- 令和 7 年度就職者フェア出展料 250,000 円
- 施設機能強化費 160,000 円（避難車購入予定）
- 災害備蓄品（食品） 200,000 円
- 床ワックス塗布料金 1 回 129,800 円×3 回/年